

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域CI展開事業		130311	担当課	まちづくり推進課		
	開始年度	平成3(1991)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等			
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	魅力的なまちづくりを進め、ふるさとへの愛着心の高揚を図るため、市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターの普及・啓発を図る。市の木・花・鳥及びイメージキャラクターを普及・啓発することで、福知山市の個性化を図り、市内外にアピールすることにより、魅力的なまちづくりを進め、ふるさと福知山への愛着心の浸透を図る。						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	■平成29年度事業概要 ・市の木・花・鳥の普及・啓発。市の木・花・鳥のパンフレット配布。 ・イメージキャラクター「ドッコちゃん」の着ぐるみ貸与とイラストを活用し市民への啓発を図る。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	需用費	消耗品			23			
	役務費	郵送料、クリーニング代			21			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	163	59	57	53		
		補正予算等…②	1	4	0			
		繰越し等…③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	164	63	56	52		
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	1	1		
		特定財源名称(H29実績)				頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.10 / 0	0.10 / 0	0.10 / 0	/			
	概算人件費…④	800	800	800				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		964	863	857				
執行状況	執行額…⑥		105	44				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		64.0%	69.8%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922951/942000	946618/942000	/942000	942000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
			着ぐるみ貸し出し件数	回	26 / 40	42 / 40	/ 40	40
			単位あたりコスト		6.3	1.0		
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	着ぐるみは市内イベント等で活用され市民やイベント主催者のニーズは高い。また、イラスト使用にあたっては、各種媒体で使用することにより本市のPRとなる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	多様なイベントで活用され、コストをかけずに周知が図れ効率的な事業運営ができています。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市の花に親しむとともに、キャラクターの活用により子どもから高齢者まで、ふるさと福知山を実感できる機会となり有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	○着ぐるみ貸し出し件数が増加しており、今後も更なる広報活動を行っていく。		
	今後の課題及び方向性	○事業の周知を図ることが課題である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の内容では事務経費しかみえてこないで、当初の事業目的を達せられるように考えられたい。 ・5万円程度の事業費でかつ地域CI展開事業という名称で事業立てする意味は。 ・市の木・花・鳥、ドッコちゃん等を単体でPRしても限度がある。PRの工夫が必要ではないか。 ・市歌の屋(庁舎)や夕方(防災無線)の放送は一度検討いただきたいと思ます ・市のご当地キャラクターの独自投票イベントを年間通じて実施し、お城祭り等で投票結果を発表するなどの企画を考えてみてはどうか。 ・事業目的として市の木・花・鳥などの普及・啓発とあるが、普及させることでどのような効果を目指すのか明確な目的が不明。また、合併前から旧市・町のものをもそのまま残してあり、市のイメージ等でPRするには種類が多く、再整理が必要。 ・ドッコイセ大使の活躍する場の検討を。 ・イメージキャラの貸し出しのみと見受けられるため、そうしたCIを市民協働で作りに上げていくことで、シビックプライドに繋がる活動になればと期待します。 ・いずれも市をPRしていくものになるので、シティプロモーション係等と庁内連携を行いながら取り組んでいただければ。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の木、花、鳥、イメージキャラクタードッコちゃんはいずれも市をPRしていくものであり、単体でPRするには限度があることから、シティプロモーション(福知山市PR事業)と一体となってPRをしていく。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討事業			320107	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	92	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	「あしぎぬ大雲の里」周辺など川と隣接した地域において、由良川水辺空間を活かしたまちづくりを進めることを目的とする。						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.04		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	平成29年度に「かわまちづくり検討委員会」で取りまとめた地域活性化策をもとにイベント等を地元住民や地域団体を中心に開催し、あしぎぬ大雲の里周辺の活性化を図る。同時に、市域全体をフィールドとした新たな、防災とまちづくりをテーマとした「かわまちづくりに係る活性化策」を、国、府と共に実現化に向けて検討する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		委員報酬			295	
旅費					55			
需用費		消耗品			61			
役務費		郵送料			7			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	617	333	253	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	199	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	418	333	253	
		特定財源名称(H29実績)	地域振興基金繰入金			418	基金繰入金	36 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0 / 0	0.30 / 0	0.30 / 0	/	
		概算人件費・・・④		0	2,400	2,400		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	3,017	333			
執行状況	執行額・・・⑥		0	418				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	67.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		委員提案事業数	件	0 / 0	10 / 10	/ 10	10	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		検討会議開催数	回	/	6/6	/6	-	
		単位あたりコスト		0.0	69.8			
		単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	策定委員による事業提案を含めた方針案を策定し、住民主体の事業展開を図るべく議論を進めた。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	福知山公立大学の先生や学生の参画など地元主導での計画策定を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国土交通省福知山河川事務所とも連携し、将来的なB/C設定に向けた議論なども進めてきた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○地元住民を中心とした委員会を設置し、方針案を策定した。 ○地域住民が主導するイベント案やそれを基にした整備に向けた課題等の洗い出しを行った。	
	今後の課題及び方向性	○大江地域に限定せず、市内も含めた計画策定を検討していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見 ・評価シートへの記述をもっと豊かに ・国交省の取組は切り離してみても ・国交省への計画申請によるものと推察されるが、認定によるメリットがあまりないのなら、ターゲットはやはり大江の由良川流域に限るなどの見直しがあってもよいのでは。市として予算をもつ必要性が不透明		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市内の重点ポイントを決定し、川を活用した事業等を地元団体・国・府・市と連携し検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	くの一武道大会開催事業(お城で忍者事業) (230106)			担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成9(1997)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88	頁
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-	
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	福知山城の魅力を全国に発信する。					
	対象者	市民、大会参加者(全国を対象) 観覧者(主に観光客を対象)	対象者数	150	一人当たりコスト	8.38	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) くの一武道大会丹波福知山の段実行委員会					
	事業概要	■福知山城の魅力を全国に発信することを目的として、忍術大会及び忍術体験会を開催する。 実行委員会を組織し企画運営を行い、まちづくり団体や市民ボランティアの協力で競技に関する大道具・会場運営を行い、市民協働で実施する。実行委員会：福知山観光協会、尼子事務所(忍たま乱太郎の原作者「尼子騷兵衛」事務所)、福知山市で構成 ※平成29年度実績 8/19(土)、申込102人、参加60人					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容	H29経費			
	補助金交付	実行委員会へ補助金交付	300				
	大会準備に係る経費	大道具、バス運転代行、打合せ旅費等	149				
関連事業	なし						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	254	434	604	394	
		補正予算等…②	13	23	0	0	
		繰越し等…③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	267	47	38	0	
		国支出金	0	193	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	217	566	394	
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金	193	国補助金	16 頁	
		地域振興基金繰入金	217	基金繰入金	36 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.25/0	0.10/0	0.10/0	/	
		概算人件費…④	2,000	800	800		
総事業費(①+②+③+④)…⑤		2,267	1,257	1,404			
執行状況	執行額…⑥		267	449			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.2%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		メディア取材件数	回	3 / 8	8 / 9	/ 9	8
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		実施回数	回	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
		単位あたりコスト		267.0	449.0		
		応募者人数	人	93 / 100	102 / 100	/ 100	100
単位あたりコスト		2.9	4.4				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・民間事業者と市民が協働し運営している。福知山城の立地を活かした取組となっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コストの割には効率よく全国にPRできる事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・全国から参加者があり、また全国に発信できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	各種メディアからの取材があり、全国放送で放映されるなど本市をPRできた。	
	今後の課題及び方向性	広報の方法を再検討し、また観客も参加できるしくみづくりが必要と思われる。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、事業名を「お城で忍者事業」として、くの一武道大会だけでなく、春にはお城まつりと同時開催で「忍たま武道大会」、秋にはスイーツフェスティバルと同時開催で「忍者でまちぶら」などの市民参加型の忍者体験等のイベントを開催した。 ・今後はさらに2020年大河ドラマ関連事業と連携しながら福知山城の魅力を全国に発信していく。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和ふれあいフェスティバル事業			130312	担当課	三和支所	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	水谷 由紀		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントとして実施する。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。						
	対象者	三和地域の市民	対象者数	3,460	一人当たりコスト	1.15		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	町外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベント。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		三和ふれあいフェスティバル実行委員会に対する交付金			1,100	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	1,100	1,000	950	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		0	0	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	1,100	1,000	0
	特定財源名称(H29実績)	三和ふれあいフェスティバル事業基金繰入			1,100	基金繰入金	36 頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.36/0	0.36/0	/	
概算人件費・・・④		2,560	2,880	2,880				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,560	3,980	3,880			
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,100				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		来場者数	人	5000	4500			
		延べ参加団体数	団体	61	72			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		実行委員会開催回数	回	10	9	/	9	
		単位あたりコスト		-	122.2			
				/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・参加団体から参加費を徴収するなどイベントの財源の一部を確保するよう努めている。 ・地元の資源を利用した効率的な手づくりイベントである。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。 ・次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求め人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。 来場者数は当日の天候にも左右されるが、数字的には目的をほぼ達成できていると考える。地域住民の積極的な参加意識・地域おこしの意識を喚起するイベントであることと併せ、地域活性化につながっている。		
	今後の課題及び方向性	将来的に極度の人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・イベント自体は、ニーズも伺え必要なものと判断できる。 ・総事業費1,200千円のうち1,100千円が交付金となっており、自主財源の確保については今後も努力が必要。 ・三和町には工業団地がある強みを活かし、それらの企業に協賛の依頼をするなどできる範囲での歳入確保への取り組みは必要ではないか。 ・三和地域最大のイベントとして、継続して開催できるよう事業を推進していただきたいと思います		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	運営は実行委員会で行い、予算の多くを市補助金で賄う。地域の活性化のため三和地域協議会を中心に、住民が主体のイベントとして実施する。1年間の活動の発表の場として子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させる場として定着している重要なイベントである。 地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していくとともに、自主財源の確保について努力をしていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光振興一般管理事業			230125	担当課	産業観光課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	観光振興業務を円滑に執行する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 各種団体(北近畿広域観光連盟、京都府観光連盟、大江山観光開発協議会)						
	事業概要	観光振興業務を円滑に行うための必要経費 平成29年度に「観光団体負担金事業」を統合						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		北近畿広域観光連盟、京都府観光連盟等への負担金			928	
		役務費		電話代、運搬料等			495	
旅費		プロモーション会議等にかかる旅費			283			
使用料及び賃借料		高速道路通行料			91			
需用費、報償費		需用費77、報償費5			82			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		800	1,348	1,300	1,879	
		補正予算・・・②		218	538	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		983	1,851	1,265	1,844	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		35	35	35	35	
		特定財源名称 (H29実績)		福知山十景絵はがき		15	物品売払収入	32 頁
			観光テレホンカード		2	物品売払収入	32 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.58/0	1.28/0	1.28/0	/	
概算人件費・・・④		4,640	10,240	10,240				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,658	12,126	11,540			
執行状況	執行額・・・⑥			1,018	1,879			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	99.6%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		連携する広域観光団体	団体	/	3/3	/3	3	
		単位あたりコスト		/	626.3			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	事務事業を執行する上で、また観光関連施設を適切に維持管理するために必要な経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	費用は、必要最小限の経費であるが、今後においても引き続き事務の簡素化や効率化を図り、経費削減に努める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	観光関連施設を適切に維持管理することで観光客の満足度を向上することができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○観光振興を推進するための事務については最小の経費で実施している。 ○近隣自治体と連携して広域観光を推進するためには、関係団体との連携が必要。	
	今後の課題及び方向性	○今後においても引き続き事務の簡素化や効率化を図り、経費削減に努める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・北近畿観光連盟と大江山観光開発協議会への負担金については、海(山)の京都DMOが発足した経緯等を鑑みて抜本的に見直すべきではないか。市としての主体的取組のフェーズでは既にならぬように思われる		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会、海の京都DMOは対象とするエリアや目的が異なる。各々の組織で取り組みをすすめ、必要に応じて協力・連携していく。 ・京都府が実施するスポーツトレイル推進事業にかかり、モンベルフレンドエリア負担金が新たに発生。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光友好都市交流事業			230166	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成24年に「観光友好都市連携」及び「災害時における相互応援協定」を締結した大江山の酒吞童子伝説とゆかりのある金太郎の生誕地 静岡県小山町と観光分野における地域交流を通して住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため、民間交流を促進し、将来にわたる絆を深める。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	○「夏休み富士山チャレンジ自然体験」の実施 事業内容:富士登山と小山町との交流 参加対象:市内の中学1~3年生 ○「鬼伝説交流事業」の実施 事業内容:小山町の児童を本市に招き、本市の子どもたちと交流を図る 平成29年度に大江支所「観光友好都市尾に伝説交流事業」を統合							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		使用料及び賃借料		バス借上運転 他			500		
旅費		夏休み富士山チャレンジにかかる旅費			42				
役務費		手漉き和紙体験料、和紙運搬料			23				
需用費		紐付き名札、携帯酸素等			17				
関連事業									
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算...①		615	1,191	1,142	1,092		
		補正予算...②		511	△ 609	0	0		
		繰越し等...③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		976	82	832	886		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	500	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		150	0	310	206		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.13/0	0.13/0	0.13/0	/		
概算人件費...④		1,040	1,040	1,040					
総事業費(①+②+③+④)...⑤			2,166	1,622	2,182				
執行状況	執行額...⑥			1,041	582				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			92.5%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		実施回数	回	1/ 1	2/ 2	/ 1	1		
		単位あたりコスト		520.5	291.0				
				/	/	/			
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	効率よく有効に事業が実施できていることに加えて、小山町にも積極的に協力をいただいている。 H30からは富士山登山参加者から負担金を徴収
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民が交流することにより、両市町の親交を更に深めることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。	
	今後の課題及び方向性	○行政間のみでの交流にとどまらず、市民町民間の交流が行われることで、小山町との友好の絆を深めている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・今後、小山町との交流の結果、観光客がどう推移したか計り今後の事業展開に活かしていけたらよいと思う。 ・成果実績指標として『夏休み富士山登山』『鬼伝説交流事業』参加者の満足度を設定することを検討いただきたい。 ・事業の効果がみえない ・対象者は「参加者」などへの見直しを		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・『夏休み富士山登山』『鬼伝説交流事業』の参加者に対するアンケート等により、事業の満足度や改善点を把握し、指標や翌年度事業に反映する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光地域づくりセンター(仮称)設置運営事業			230184	担当課	産業観光課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	『北近畿の玄関口としての特性を活かし、市民主体で持続可能な観光コンテンツをつくる』を戦略テーマとし、本市にある過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを進める。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.02		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 株式会社ローカライズ						
	事業概要	○ 民間の専門的な視点やノウハウを有した戦略マネージャー及び地域づくり担当を外部委託し、地域の特徴を活かした観光地域づくりプランを作成し、地域関係者や事業者を交え伴走型により事業を展開。 (H29取り組み) [三和地域] 大原地区ウエディングプロジェクト ・ [旧市周辺地域] 上六人部地区農泊事業プロジェクト [中心市街地] 福知山城活性化プロジェクト						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		観光地域づくりセンター戦略マネージャー委託料等			12,598	
需用費		リサカルトナー、ドラムカートリッジ等			372			
旅費		先進地視察にかかる旅費			29			
報償費		委託業者選定審査会委員等謝金			10			
役務費		手袋クリーニング代			1			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	13,603	13,138	8,974	
		補正予算・・・②		0	△ 521	0	0	
	繰越し等・・・③		0		0	0	0	
	財源内訳	一般財源		0	0	0	0	
		国支出金		0	6,541	6,569	4,487	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	6,541	6,569	4,487	
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金		6,304		国庫補助金	18 頁
	地域振興基金繰入金		6,478		基金繰入金	36 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.00/0	0.71/0	0.71/0	/	
		概算人件費・・・④		0	5,680	5,680		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	18,762	18,818			
執行状況	執行額・・・⑥			0	13,010			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			-	99.4%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		事業着手数	回	/	3/ 3	/ 4	5	
		単位あたりコスト		-	4,336.7			
				/	/	/		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	持続可能な観光地域づくりを推進するために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	専門的な経験と知識を有した民間事業者に業務を委託することにより効率的に事業を実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	平成29年度の新規事業であり、事業効果の評価基準を設定する必要がある
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○行政からの支援に依存しない持続可能な観光地域づくりを推進するために必要な取組み。 ○初年度である平成29年度は、事業着手箇所の選定と関係者間の調整を実施し目標としていた3箇所の事業着手は達成。	
	今後の課題及び方向性	○一部の関係者だけの取り組みではなく、地域に関係する事業者を幅広く巻き込み、地域全体での取り組みとする必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・事業目的から観光客・市民との接点が多い地域づくり相当が今後の活動を持続可能ならしめるインセンティブが働くような経費の見直しの検討を。 ・POST地方創生財源は？ ・大河が決まったことでアウトプットの見直しを(むしろ31年以降)が大事 ・3年後の自立化はやや心配 ・少なくとも委託は一本化すべきでは？ ・それぞれが担うべき役割を整理して進めていく必要がある		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・地域づくりについて協議する際には、持続可能性を念頭に地域にお金が廻る(経済性のある)事業展開を検討している ・戦略マネージャー・地域づくり担当に関する業務は、経験や知識を有する事業者を広く公募し選定している。 ・事務局機能を観光協会への委託から市直営に変更する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「肉のまち福知山」事業			230186	担当課	産業観光課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市にはかつて、西日本の三大家畜市場の一つとして全国の流通を支え、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く、複合的な肉文化が存在していることから、「スイーツのまち」に加え、、肉をテーマにした物語の組立や資源の再発見など、新たな観光コンテンツとして「肉のまち福知山」をPRすることで観光誘客や地元産業の活性化を図る。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山肉まち協議会						
	事業概要	○「肉のまち福知山」関連イベントを計画したが、平成29年度は台風21号の災害を鑑み事業中止。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
	補償、補填及び賠償金	イベント中止に伴う補償金				906		
関連事業								
予算と執行の状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	1,200	2,000	1,800	
		補正予算・・・②		0	△ 293	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		0	0	0	0
			国支出金		0	453	1,000	900
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	454	1,000	900
		特定財源名称 (H29実績)	ふるさと創生事業基金繰入金		906	基金繰入金	38 頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.21/0	0.21/0	/	
概算人件費・・・④		0	1,680	1,680				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	2,587	3,680			
執行状況	執行額・・・⑥		0	906				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	99.9%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	/	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		実施回数	回	/	0/ 1	/ 1	1	
		単位あたりコスト		-	0.0			
		単位あたりコスト		/	/	/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	「肉のまち福知山」として福知山市をPRする中心的事業であり、観光誘客の促進に効果があるため、市が中心となって事業を展開する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	イベントの売上金の20%を徴収する仕組みとし、財源の確保に努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	平成29年度はイベント中止となったため、実績を分析することができないが、本市のPRや誘客を図るものとして有効と考える。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○イベント開催までに市内外から期待している声があり、周辺地域から観光客を集めることができる本市の主要イベントとなる可能性がある。	
	今後の課題及び方向性	○イベントだけにとどまらず、恒常的に「肉のまち福知山」を感じられる仕組みづくりが必要。 ○平成30年度からは「肉のまち福知山」事業を福知山市全体で推進するため、市内食肉関係の店舗、関係団体に協力を依頼の上、活動の基盤となる組織を設置する。 ○単発事業でなく、継続的な事業展開が図られるよう、関係業界等との連携や民間活力の活用により市内外に発信できる事業を目指す。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・自治体ポイント制度を活用し、府内だけでなく(全国)に発信していく(広報) ・取り寄せマーケット →リアルな(福知山に来て)食体験(観光)に結びつくのでは？ ・新しいブランディング、食べ方レシピの開発が食文化の発信に繋がるのでは ・ブランドが乱立している ・いがいと～の連携は？もっと市によるアプローチが不可欠 ・手探り状態の部分もあると思いますが、成果がでるように工夫とアイデアを		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・「肉のまち」を本市の新しいブランドとすべく市民や事業所を巻き込んだ事業展開を図る。 【減額】△200千円 ・「福知山肉まち協議会」に対する補助金の減額	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	海の京都DMO事業			230344	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成25(2013)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費			決算附属資料	190	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等		-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等		-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成27年、京都縦貫自動車道が全線開通し、アクセスが飛躍的に向上が向上した京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施								
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 海の京都DMO								
	事業概要	「海の京都観光圏」エリアの京都府北部5市2町の行政、商工業、宿泊業、金融業等で構成する「海の京都DMO」に対して負担金を負担する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		海の京都DMOに対する自治体負担金				11,815		
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	11,815	11,851	11,288			
		補正予算・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		12,390	0	0				
		財源内訳	一般財源		0	0	0			
			国支出金		12,390	4,343	4,338	4,068		
			府支出金		0	0	0	7,220		
			地方債		0	0	0			
			その他特財		0	7,472	7,513			
	特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金		4,343		国庫補助金		18 頁		
		地域振興基金繰入金		7,472		基金繰入金		36 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.40/0	0.19/0	0.19/0				
概算人件費・・・④		3,200	1,520	1,520						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			15,590	13,335	13,371					
執行状況	執行額・・・⑥		12,390	11,815						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		特産品販売額	万円	/	1,100/2,000	/2,000	2000			
		単位あたりコスト		-	10.7					
				/	/	/				
	単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の人口減少・高齢化に対する対策として観光による民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在は人員、財源ともに行政が主導している。 民間主導につなげる仕組みが必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [H29主要事業] ・継続的データ収集・整備・分析 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・情報発信・プロモーション 等	
	今後の課題及び方向性	○福知山観光協会が海の京都DMO地域本部となり、各地域本部と連携し、より広域的な観点から本市を含めた海の京都エリアへの観光誘客を図るため、大規模なプロモーション活動等を実施していくことが可能となった。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・海京の取り組みによって、福知山に直接・間接のメリットがどれだけあったのか。効果測定・分析を行い、負担金のあり方や市の関り方を考えていくべき。 → 現状を「糊塗」して進めていけば良いというものではない ・成果実績(アウトプットも含む)には、入込客数ばかりではなく、地域に落ちる消費額や、福知山に關係する旅行者数/旅行商品数などを具体的に記載すべき ・福知山にとってのメリットを分析、把握することは必要 ・負担金を払う以上、効果的になるように働きかけていただきたい		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・ DMOの事業による効果を図る指標や測定方法について、DMO事務局に協議する。 ・ 福知山市の情報を積極的にDMOに伝えるなどし、DMO参画に対する本市のメリットが明確になるよう努力する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	森の京都DMO事業			230345	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成28(2016)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費			決算附属資料	190	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等		-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等		-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大江山や芦生の森、美山かやぶきの里を有する京都府中部地域(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、生命と文化を育んできた「森」を多面的な角度からとらえ、豊かな自然と文化に触れ、活かし、未来に受け継げるよう林業の活性化や森の文化の発信などとおして観光地域づくりを推進し地域活性化を図る。								
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 海の京都DMO								
	事業概要	森の京都エリア4市1町での観光や農林業の振興を目的に平成29年3月に設立された「森の京都DMO」に対して負担金を負担する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		「森の京都DMO」に対する自治体負担金				10,100		
関連事業										
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	10,100	9,552	9,124			
		補正予算・・・②		0	0	0	0			
		繰越し等・・・③		4,500	0	0	0			
		財源内訳	一般財源		0	0	0	0		
			国支出金		4,500	3,900	3,666	3,337		
			府支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他特財		0	6,200	5,886	5,787		
			特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金		3,900	国庫補助金	18 頁		
		千年の森ふるさと基金繰入金		6,200	基金繰入金	36 頁				
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.20/0	0.19/0	0.19/0	/			
		概算人件費・・・④		1,600	1,520	1,520				
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,100	11,620	11,072				
執行状況	執行額・・・⑥		4,500	10,100						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		人材育成研修回数	回	/	5/8	/8	8			
		単位あたりコスト		-	2,020.0					
				/	/	/				
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の人口減少・高齢化に対する対策として観光による民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在は人員、財源ともに行政が主導している。民間主導につなげる仕組みが必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開 [H29主要事業] ・マーケティング調査(WEB調査・動向調査) ・旅行商品開発・販売 ・特産品開発・ブランド化・販売促進 ・人材育成 等	
	今後の課題及び方向性	○観光協会の関わり方、将来の経営見込み、事業費の市町負担、運営形態など今後調整を要する事項が多く関係市町と連携しつつ注視する必要がある。		
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	・森京に参加している価値が具体的にどこに現れているか → 客観的に分析すべきだが、既に参加そのものを見直す時期ではないか ・森京のつながりよりも、市(及び市内事業者)の直接的取り組みにエネルギーをむけるべき。さらにというならば、朝来や丹波との連携の方に利があるのではないか ・加盟しているが、福知山に効果がうすいのであれば、今後のかかわり方を検討していく必要があるのでは		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・DMOの事業による効果を図る指標や測定方法について、DMO事務局に協議する。 ・福知山市の情報を積極的にDMOに伝えるなどし、DMO参画に対する本市のメリットが明確になるよう努力する。 ・兵庫県丹波地域とは、大丹波広域観光連盟や大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会で既に連携しており後はさらに効果的な手法を検討していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	城下町福知山・まち歩き観光促進事業 (310226)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	JR福知山駅や福知山城には、その隣接地に來街者のための無料駐車場があるが、まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界隈周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができないため、既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金を一定時間無料化することで、まちなかへの來街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図る。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	福知山まちづくり株式会社が運営する御霊公園福知山パーキングの駐車料金の1時間分を無料化するための経費を負担する。 H30年度からは、駐車料金の最初の30分を無料化するための経費のうち、市が1/2、周辺店舗及び福知山まちづくり会社が1/2を負担する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	負担金補助及び交付金	城下町・福知山まち歩き観光促進事業負担金			7,441			
	関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	6,435	6,435	1,871	753		
		補正予算等・・・②	758	1,006	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	3,976	1,006	0	0		
		国支出金	3,217	0	935	0		
		府支出金	0	3,217	0	376		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	3,218	936	377		
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金		3,375	府補助金	26 頁	
			地域振興基金繰入金		3,218	基金繰入金	36 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.10/0	0.12/0	0.12/0	/		
概算人件費・・・④		800	960	960				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		7,993	8,401	2,831				
執行状況	執行額・・・⑥		7,193	7,441				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	593/850	754 /867	/884	917	
		効果検証アンケートによる広小路商店街回遊利用率	%	39.2/	30.2/40	/42	42	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		パーキング利用台数	台	47,948/41,500	49,605/45,600	/50,200	55,300	
		単位あたりコスト		0.15	0.16			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	現在、広小路界隈には、まち歩き観光や食事・買い物等が出来る無料駐車場の設置が求められており、既存の福知山パーキングの駐車料金1時間分を無料にすることで、ニーズに答えられるものである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	駐車場利用者にとってのメリットは大きいですが、街なかの回遊という目的のための施策として、事業効果の検証方法と事業の在り方の見直しが必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	御霊公園福知山パーキングの利用台数が28年度の利用率の1.05倍となり駐車料金を1時間無料とした効果は一定あった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	継続して事業を実施することで広小路界隈への観光客や買い物客の誘客を図るとともに、まちなかの活性化につなげるものである。 目標値には届かなかったものの、通行量は増加傾向にあり、来街の動機付けに繋がったと考える。しかし、まちなかの回遊性に繋がったかは不透明である。	
	今後の課題及び方向性	数値的な分析や事業効果についての検証が不十分であったため、平成30年度から事業の利用状況が把握できるよう形態を変更して実施する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	H30年度の実績見込みを基に予算を縮減する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	日本鬼文化交際事業 (130117)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	186	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	酒呑童子祭り事業補助金交付要		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	「日本鬼師の会」の活動を支援することにより、全国に広く「京都府福知山市の鬼」をPRするとともに、鬼文化の振興や鬼の情報発信による観光振興を図る。また、鬼に関係する市町(兵庫県川西市・静岡県小山町・新潟県燕市)との相互交流により、お互いの市町の経済活動に寄与する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 日本鬼師の会						
	事業概要	鬼伝説ゆかりの市町村との交流事業、日本鬼師の会の活動支援、大江山酒呑童子祭りに対する支援経費 平成29年度に大江支所から移管						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		大江山酒呑童子祭り補助金、全国研修大会実施補助金			560	
旅費		友好都市交流、日本鬼師の会運営支援の旅費等			108			
使用料及び賃借料		高速道路通行料			5			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,346	2,712	2,591	2,698	
		補正予算・・・②		12	△ 2,039	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		858	0	0	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		500	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	673	2,591	2,698	
		特定財源名称 (H29実績)	地域振興基金繰入金			670	基金繰入金	36 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.25/0	0.07/0	0.07/0	/	
概算人件費・・・④		2,000	560	560				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,358	1,233	3,151			
執行状況	執行額・・・⑥		1,353	672				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.6%	99.9%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		日本鬼師の会大会・理事会	回	4/ 4	3/ 4	/ 4	4	
		単位あたりコスト		338.3	224.0			
		鬼にかかわる相互交流	回	4/6	3/6	/6	6	
単位あたりコスト		338.3	224.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・鬼伝説を活用した交流事業であり、特色ある地域個性としてインパクトのある観光資源の活用は成果は大である。 ・民間事業者でも事業者の負担をもって実施することは可能だが現実的には厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・事業による負担関係は適切である。 ・少ない経費をもって鬼を通じた全国的な展開を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、期待される目標に達しており、活動内容により一層の効果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼にかかわる地域間交流は、イベントでの交流を深めていくことにより地域経済の活性化を促す。 ・平成29年度は、台風の影響により大江山酒吞童子祭りが中止となったが、鬼師の会全国研修大会では、全国の鬼師が熊本城の鬼瓦のレプリカを製作し、熊本の被災状況と一緒に展示することで、多くの人に鬼瓦を再認識してもらおうと共に、熊本城の復興を訴えることができた。 ・また、現代の名工の手による鬼瓦実演会や鬼師の指導による鬼瓦製作体験会での匠の技や、実際に製作体験をってもらうことで、日本古来の伝統文化である鬼瓦に親近感を感じ、広い世代に鬼瓦を通じて『鬼文化』を知ってもらうよい機会になった。 	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼文化交流事業のひとつである日本鬼師の会の活動は、全国に類を見ない活動であり、旧大江町から継続して事業を展開してきた。 ・今後の展開において、鬼伝説を全国に発信できる市全体の観光資源のひとつとし幅広い展開が必要である。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 【増額】 107千円 <input type="checkbox"/> 旅費 7千円 ・全国鬼サミットに参加するため。 ※全国研修大会旅費は0円とし、その差額分を増額。 <input type="checkbox"/> 補助金 100千円 ・日本鬼師の会全国研修大会実施補助金を福知山市で開催するため。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光おもてなし促進事業 (230101)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	186・188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	一般市民を対象とした観光ガイド養成講座を開催し、観光客の方に歴史・文化・観光スポット等、本市の魅力により効果的に案内することができる観光ガイドを養成する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 京都ユニオンサービス株式会社						
	事業概要	本市への来訪者を市民自らがもてなす「まちづくり観光」を实践するため、観光ガイド養成講座を実施する。JR西日本との連携によるディスカバーウェストハイキングを実施する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		講座講師の報償費等			374	
委託料		マイクロバス運転代行			9			
需用費		燃料費			2			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		62	456	421	411	
		補正予算・・・②		△ 5	△ 45	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		57	0	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	411	421	411
	特定財源名称 (H29実績)		地域振興基金繰入金		320	基金繰入金	36 頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.07/0	0.08/0	0.08/0	/		
	概算人件費・・・④		560	640	640			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			617	1,051	1,061			
執行状況	執行額・・・⑥		39	384				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		68.4%	93.4%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光ガイド数	人	29 / 30	29/30	/30	30	
		受講者数	人	22 / 30	18/30	/30		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		養成講座実施数	回	7 / 7	6 / 6	/ 7	7	
		単位あたりコスト		5.6	64.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	観光客に、おもてなしの心をもって福知山の魅力を十分に案内することで、観光客の満足度を高め、何度も福知山を訪れていただくためのおもてなしプランを市として充実させている。 また、ディスカバーウエストハイキングは観光客に観光スポットをより魅力的に伝え地域資源を活性化させるために実施している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	必要最小限の経費である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	ガイド養成講座の実施により、観光案内人の資質の向上を図ることができる。そのことにより、観光客の満足度を高めりピーターとして何度も訪れていただくことが期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○サポート会員などの新設などにより、目標のガイド人数は到達し、維持することができている。 ○ディスカバーウエストハイキングについては、聞いてみないと分からない地域の魅力を定期的に発信する場として貴重であり、継続していくことに意味があると考えます。	
	今後の課題及び方向性	○講座を修了された方が実際にガイドとして活躍されるのは少人数であり、受講者に対してのフォローが必要である。 ○また、現役ガイドの高齢化が進んでおり、新たな観光ガイドの育成が急務である。 ○事業棚卸しの指摘を反映して、平成29年度にディスカバーウエストハイキング事業を統合した。また、ガイドの登録者数を指標に設定した。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【増額】 1千円 ○委託料 1千円 ・消費増税分の増額 【減額】 △11千円 ○報償費 △2千円 ○需用費 △9千円 ■H29の実績から「観光ガイド養成講座」の講師謝礼を減額	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山踊り振興事業 (230130)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	福知山ドッコイセまつり事業補助金		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市内の各団体に対して、福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」等の関連イベントの活性化を図り観光誘客の増加につなげる。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山踊り振興会						
	事業概要	市内の各団体からの要望により福知山踊りの講師を派遣する。 平成29年度に「ドッコイセまつり推進事業」を統合						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		ドッコイセフェスティバル補助金、ドッコイセまつり補助金			2,080	
委託料		福知山踊り講師派遣委託料			352			
報償費		瑞風歓迎イベントにかかる謝金			20			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		399	2,422	5,101	2,432	
		補正予算…②		0	30	0		
		繰越し等…③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		399	30	5,101	2,432	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	2,422	0		
		特定財源名称 (H29実績)	ふるさと創生事業基金繰入金			2,452	基金繰入金	38 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.13/0	0.13/0	0.13/0	/	
概算人件費…④		1,040	1,040	1,040				
総事業費(①+②+③+④)…⑤			1,439	3,492	6,141			
執行状況	執行額…⑥		399	2,452				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		受講者数	人	1372 / 1500	1815 / 1500	/ 1500	1500	
		踊り参加者	人	9900 / 9000	7600 / 9000	/ 9000	9000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		派遣回数	回	42 / 45	37 / 45	/ 45	45	
		単位あたりコスト		34.3	66.3			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向け、福知山踊りの振興と発展、次代への継承のため、市が取り組む必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	必要最小限の経費の支出としている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	講師派遣については、特に保育園・小学校からの要望が多く、伝統文化である「福知山踊り」を次世代へ継承していくために有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○本市の伝統産業を保存・継承することで、文化を保護する役割を果たしている。	
	今後の課題及び方向性	<p>○「福知山踊り」の子どもから高齢者にいたるまでの幅広い層への浸透が課題である。</p> <p>○講師派遣制度について市民へ広くPRするとともに、地域公民館や自治会を通じて福知山踊りを学ぶ機会を設け、地域イベントでの福知山踊りの積極的な活用を図る方法を検討する。</p> <p>○平成30年度は友好都市間の文化交流を図るため、秘書広報課「姉妹都市友好親善市民交流事業」において、踊り振興会を派遣し、福知山踊りを披露していただく。</p> <p>○また、福知山踊りに必要な櫓を新造し、「ドッコイセのまち」をさらに発信することで、ドッコイセまつり等の誘客につなげる。</p> <p>○事業棚卸しの指摘を反映し、踊り参加者を指標に設定した。また、踊りの振興策について関係者にヒアリングを行う。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ※福知山踊りに取り組む複数団体から、現状や要望についてヒアリングを行った 【減額】 △2,470千円 ○旅費 1,179千円 ・島原市交流事業が皆減するため。 ○補助金 1,500千円 ・櫓新造補助金が皆減するため。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光案内所管理運営事業 (230131)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市への観光客の快適な旅をサポートするため、本市の観光の拠点である「福知山駅観光案内所兼観光PRコーナー」の管理・運営を行う。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 一般社団法人 福知山観光協会						
	事業概要	福知山観光協会に福知山駅観光案内所兼観光PRコーナーの管理・運営を委託する (業務内容) ・ 観光案内所への来場者に対する観光案内業務。 ・ 福知山駅観光案内所・観光ギャラリーの管理業務 等						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		観光案内所の管理・運営委託			6,541	
負担金補助及び交付金		観光案内所電気代			476			
需用費		水道代、エアコン修繕			466			
使用料及び賃借料		観光案内所の共管費			403			
役員費		エアコン修繕にかかる点検料			87			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		6,500	7,460	7,425	9,852	
		補正予算・・・②		0	531	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		6,500	1,453	0	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	6,538	7,425	9,852	
		特定財源名称 (H29実績)	地域振興基金繰入金		6,493	基金繰入金	36	頁
		駅レンタカー・ギャラリー使用電気料		43	雑入	46	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.19/0	0.12/0	0.12/0	/	
		概算人件費・・・④		1,520	960	960		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			8,020	8,951	8,385			
執行状況	執行額・・・⑥			6,500	7,973			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	99.8%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
		推奨土産品登録数	個	135/158	149/162	/166	170	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光案内所開所日数	日	359/359	359/359	/ 359	359	
		単位あたりコスト		18.1	22.2			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	今後、人口減少、高齢化に伴う地域内消費の減少により、地域経済は縮小することが予想される。 そのような中、観光による自然や歴史、文化等の資源をPRし交流人口の増加につなげることで、地域の活性化に大きく寄与するものである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	観光案内所の管理運営について、必要最低限のコストで実施できている
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	観光が地域にもたらす経済効果は極めて大きい。 観光客の誘客事業に力を入れることで、本市の観光振興及び観光客誘致による経済効果が見込まれる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○本市への観光客により魅力的な観光情報の提供や旅行のサポートを行い、交流人口の増加に繋げる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	○今後ますます多様化・増大する観光ニーズに迅速に対応し、観光客のリピーターを増やすためには、きめ細かな観光情報の発信や地域の特色を生かしたおもてなしが必要不可欠である。 ○事業棚卸しの指摘を反映して、平成29年度から観光協会への補助金から業務委託に変更した。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	組織の運営全体に対して補助していたものを、市からの委託による受託事業と、会費等独自財源による事業とを明確分けるよう改めた。	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	NHK大河ドラマ誘致推進事業 (230142)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマが戦国武将明智光秀を主人公にした「麒麟がくる」に決定したことを受け、明智光秀・細川ガラシャ・幽斎・忠興にゆかりの地域で連携して当地域の文化や情報を発信し地域の活性化に資する						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> NHK大河ドラマ誘致推進協議会						
	事業概要	「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」への負担金 【NHK大河ドラマ誘致推進協議会】構成市町: 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、長岡京市、京丹後市、大山崎町、丹波市、篠山市、若狭町 事業概要: 大河ドラマに関連したイベント等の実施、NHKへの要望活動、パンフレットの作成 大河ドラマ誘致先進地視察、署名活動、協議会ホームページによる情報発信						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」に対する負担金			400	
旅費		総会出席、首都圏イベントにかかる旅費			201			
需用費		リサイクルトナー等			15			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		602	610	580	967	
		補正予算・・・②		△ 28	6	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
		財源内訳	一般財源		574	566	0	
			国支出金		0	0	0	
			府支出金		0	0	0	
			地方債		0	0	0	
	その他特財		0	50	580	967		
	特定財源名称 (H29実績)		NHK大河ドラマ誘致推進協議会事務局負担金		50	雑入	46 頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.36/0	0.36/0	/		
	概算人件費・・・④		1,760	2,880	2,880			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,334	3,496	3,460			
執行状況	執行額・・・⑥		517	616				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		90.1%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		署名人数	人	1,704/3,000	3,226/3,000	/3,000	3000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		大河ドラマPRキャンペーン数(市内)	回	7/10	6/10	/10	10	
		単位あたりコスト		73.9	102.6			
		署名箱設置箇所数(市内)	箇所	13/15	13/15	/		
単位あたりコスト		39.7	39.7					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	関係団体が協働してNHK大河ドラマを誘致することにより、効果的な事業の展開が図れる。 また、明智光秀ゆかりの地としての「福知山市」を全国にPRすることで観光誘客につながるため市として取り組む必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	市が単独で行うより、関係団体と連携し事業実施することで、広域的に事業展開が図れる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	NHK大河ドラマの誘致が実現すれば、福知山のPRや情報発信効果は大きく、福知山城、まちなか観光、更には周辺地域への観光客の誘致につながり、経済波及効果は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○明智光秀を主人公にした2020年大河ドラマを本市魅力発信の絶好の機会と捉え、より多くのターゲットに向けたシティプロモーションと本市の魅力を向上させるための整備を戦略的に展開し、福知山市のイメージの向上と定着による関係人口の拡大や、市民のシビックプライドの形成による市民参加のまちづくりをすすめる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	○引き続き、各種イベント等において署名活動を積極的に展開し、明智光秀を中心としたNHK大河ドラマの誘致について、市民へ周知するとともに関係団体とも連携を図り機運の醸成を図っていく(H29まで)。 ○平成30年度は、構成市町の周遊につなげるため、NHK文化センターとの共同により、ゆかりの地をめぐるガイドツアーを5コース(1コースは平成29年度)実施。 ○事業棚卸しの指摘を反映し、市内の事業者等に大河ドラマ誘致の経済効果を周知し、署名等への協力を呼びかける。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分		
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【増額】 387千円 <input type="checkbox"/> 旅費 11千円 ・会議やPRキャンペーンが増えるため。 <input type="checkbox"/> 補助金 350千円 ・協議会の予算拡充に伴い負担金が増額するため。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山お城まつり支援事業 (230147)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	188	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、北近畿で唯一の天守閣があり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ観光交流人口を増加させる。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山お城まつり実行委員会						
	事業概要	「福知山お城まつり実行委員会」への補助金 【福知山お城まつり】 事業内容: 食の祭典、福知山踊りパレード、光秀行列等 実施日: 4月1日(土)、2日(日) 実施場所: 広小路通り、御霊神社、福知山城						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		福知山お城まつり事業補助金			3,000	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	3,000	3,000	3,000	
		補正予算・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		3,168	0	0		
		財源内訳	一般財源		0	0	3,000	3,000
			国支出金		3,168	0	0	
			府支出金		0	0	0	
			地方債		0	0	0	
			その他特財		0	3,000	0	
	特定財源名称 (H29実績)		ふるさと創生事業基金繰入金		3,000	基金繰入金	38 頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.04/0	0.09/0	0.09/0	/	
概算人件費・・・④		320	720	720				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,488	3,720	3,720			
執行状況	執行額・・・⑥			3,168	3,000			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		入込客数	人	11,000/12,000	12,000/12,000	/12,000	12,000	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		光秀行列	回	1/1	1/ 1	/ 1	1	
		単位あたりコスト		3,168.0	3,000.0			
開催日数	日	2/2	2/2	/2	2			
単位あたりコスト		1,584.0	1,500.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市のシンボルである「福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の個性と魅力を継承・発信し、交流・集客の促進につなげていくことができる事業であるため、市として「福知山お城まつり実行委員会」を支援する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	平成21年度から類似事業であった「城フェスティバル」と統合された。協賛金等の財源確保を検討する必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客があり、本市のPRや誘客を図るものとして有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○「福知山お城まつり」は福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客の増加や賑わい創出し寄与している。 ○また、本市のシンボルで明智光秀ゆかりの福知山城や御霊神社のPRにも役立っている。	
	今後の課題及び方向性	○福知山市の春を代表するイベントであり、その誘客効果と本市のPR効果は高い。 ○財源確保や同時期開催イベントとの連携を検討しつつ継続して事業を実施するため、事業棚卸しの指摘を反映して、平成29年度から、収支決算状況を精査し補助金額を減額した。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	大河ドラマ決定を受け、「福知山お城まつり」をより光秀をPRするイベントにすることを検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	元伊勢八朔祭補助事業			130332	担当課	大江支所		
	開始年度	平成2(1990)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行催事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	500	一人当たりコスト	0.87			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 元伊勢八朔練込保存会							
	事業概要	「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に補助金を交付する。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要: ■実施日:9月の第1日曜日 平成29年9月3日(日) ■実施場所:大江町天田内・内宮・二俣地内 ■事業内容: 奴行列、鳥毛廻し、練込み祭礼							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		保存会に補助		元伊勢八朔祭礼練込保存会			70		
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算...①		78	70	68	60		
		補正予算...②		0	0	0	0		
		繰越し等...③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		78	70	68	0		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	0	0	60		
		特定財源名称(H29実績)					頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.03/0	0.03/0.05	0.03/0.05	/		
概算人件費...④		240	365	365					
総事業費(①+②+③+④)...⑤			318	435	433				
執行状況	執行額...⑥			78	70				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		入込客数	人	700/ 1,500	500 / 1,500	/ 1,500	1,500		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	1 / 1	1/1	/1	1		
		単位あたりコスト		78.0	70.0				
鳥毛廻し参加地区数	地区	3/3	3/3	/3					
単位あたりコスト		26.0	23.3						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域組織の負担をもって実施することは可能だが現実的には高齢化また人口減など取り巻く状況は厳しく、祭り継承者の確保が難しくなっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・地域組織の一定の負担を検討すべきだが、保存にかかる経費の一部を補助することにより運営が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果の入込み客数については、目標数値との乖離はあるが、市の観光資源としての広報不足も見受けられる。 ・活動実績は見込みに届いていない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対し補助することにより登録無形民俗文化財の継承を図る。保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において毎年練り込みが開催され、各地区での伝統的行事の継承と伝統の発信がされており、目的に果たしている。		
	今後の課題及び方向性	江戸時代から続く伝統ある催事を守るため伝統的祭事に対して補助を行っているが、限られた財源において補助額の見直しを検討する。平成30年度は、前年対比△2千円(△3%)となっている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・市民への周知を検討されても良いのではないかと思います ・祭りのPRを秘書広報課と連携し、更に発展できればと感じた。 ・伝統的行事である元伊勢八朔祭礼を保存継承し、継続して元伊勢八朔祭礼が開催できるよう事業を推進していただきたいと思えます ・入り込み客数が減少傾向にあり、広報等の工夫が必要である。 ・市補助の増額も一方法だが、それだけで存続が安泰とも思えない。三自治会の氏子だけではなく、近隣自治会にも参加者を募るなどして、伝統の継承を図って欲しい。地域にお願いするしかないが。 ・補助金については見直しをされているが、今後も必要に応じて適正に見直しをされたい ・目的に「伝統文化の発信」があるので、行政以外の団体とも連携して、取組をすすめて下さい		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・保存会また地元自治会と連携を取り、伝統的行事の保存継承に向け、地域住民が主体となる取組みの検討を進める。 ・伝統文化の発信、PRにおいてマスメディア、SNS等のツールの活用また海の京都DMO等組織との連携により効果的な広報に取り組む。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業 (130334)			担当課	大江支所		
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成26年度に地域主体で開催された、元伊勢内宮参道マルシェを支援することにより、森の京都事業を推進するとともに、内宮地区をはじめとした地域の活性化と観光客の入込みを図る。						
	対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	4,000	一人当たりコスト	0.30		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 大江元気プロジェクト						
	事業概要	地域の活性化を目的とする元伊勢内宮参道マルシェを主催する団体・大江元気プロジェクトに補助金を交付し、活動支援をする。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		補助金		マルシェ支援のため補助金を交付する			334	
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	334	0	0	
		補正予算・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		800	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		0	167	0	0	
		国支出金		800	0	0	0	
		府支出金		0	167	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			167	府補助金	22 頁
								頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0	0.11/0	0/0	/	
		概算人件費・・・④		400	880	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,200	1,214	0			
執行状況	執行額・・・⑥		800	334				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		来場者数	人	4,000/4,500	4,000/4,500	/	4,500	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		出展店舗数	軒	96/ 80	91/ 80	/	80	
		単位あたりコスト		8.3	3.7			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の期待度は高く、遠方からの来場者も多く参道復活といった社会ニーズに十分合致している。 ・民間事業者でも事業者の負担をもって実施することは可能だが現実的には厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・参加者は、購買により間接的な負担をしていると考えられる。出店者負担をどうしていくかが課題となる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、事業規模から期待される目標値としており、理にかなったものとは言いがたい。 ・活動実績は開催場所のスペースを考えると目標に達しており、かつ大江山・森の京都を十分にPRすることができ投入効果があった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	森の京都の象徴である大江山の玄関口として元伊勢内宮の賑わいを取り戻し、観光誘客を図るため本市として補助を行った。市内外から4000人の来場者があり、大江山や大江町内宮を広く発信できるとともに、91店舗の出店により地域経済の活性化を図ることができた。		
	今後の課題及び方向性	「森の京都」との連携による支援事業であり、平成29年度で支援は終了する。今後、地域に主体を移行し自主的な取組みとしての継続が必要である。元伊勢内宮参道マルシェが3年続けて開催されており、今後も継続的に開催される体制作りが必要である。また、他地区でも同様の地域活性化策が展開できるよう今後の広がりが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 ・平成30年度に事業廃止。 ・平成30年度より自主運営により、元伊勢内宮参道マルシェが開催されている。地域主体の地域活性化につながる取り組みが継続されるよう情報発信等支援を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業 230176			担当課	夜久野支所	
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	衣川 正彦	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88	頁
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	森の京都福知山マスタープラン	
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府指定文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されている玄武岩公園は、宝山の噴火によって流出した溶岩が固まる時に形成された六角形の柱状節理が見られる施設で、夜間はライトアップされ、幻想的な空間となる。ここに特設ステージを設置し、ライトアップされた空間において夜久野玄武岩コンサートを行なうことにより、やくの玄武岩公園の魅力を広くPRし、観光客及び交流人口の増加を図る。					
	対象者	観光客及び市民	対象者数	1,300	一人当たりコスト	1.20	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 ときめき会					
	事業概要	京都府の「森の京都」事業と連携するPRイベントとして、やくの玄武岩公園一帯において模擬店を出店し、玄武岩を背景にした野外ステージの設置とライトアップで自然の魅力にスポットをあて、観光スポットとしての情報を発信し、夜久野地域の振興及び交流人口の増加を図るため、コンサートを開催する団体へ補助金を交付する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	ときめき会(実施主体)への補助金	イベント実施に要する経費に対する補助(全体経費698千円)			600		
関連事業	玄武岩公園管理事業(夜久野支所)						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	0	600	0	0	
		補正予算等…②	0	0	0	0	
		繰越し等…③	800	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	0	300	0	0	
		国支出金	800	0	0	0	
		府支出金	0	300	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金		300	府補助金	22 頁
						頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.21/0	0.12/0	0/0	/		
	概算人件費…④	1,680	960	0	/		
	総事業費(①+②+③+④)…⑤	2,480	1,560	0	/		
執行状況	執行額…⑥		800	600	/		
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%	/		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		玄武岩コンサート入込者数	人	900/1,300	850 /1,300	/	-
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		玄武岩コンサート補助金	千円	800/800	600/600	/	-
		単位あたりコスト		-	-	/	/
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	/	/	

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域のまちづくりを目的に活動している団体が地元自治会と連携し実施されるイベントであるが、自己資金のみでの開催は困難であり「森の京都」事業に位置付けている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	受益者との負担関係を検討し、補助金額を削減している。周辺での駐車場の確保が困難であり、道の駅農匠の郷やくのからシャトルバスを運行している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	天候に左右され、補助金額に対する集客数割合が他のイベントと比べ悪くなっている。また、年間を通じての集客データが取れないため評価が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度は、「夜久野高原手づくり市」と同日開催日とし相乗効果を期待したが、天候の影響もあり集客数は目標数を達成できなかった。その中でも京都府の「森の京都」構想と連携し、夜久野地域の自然豊かな特性を活かし、夜久野高原及びやくの玄武岩公園を広くPRすることができた。	
	今後の課題及び方向性	京都府の「森の京都」事業期間が平成27年度から平成29年度となっており、平成30年度からの事業計画については、補助金に頼らない方向で事業実施を検討する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・対象を明確に — 地域住民か、近隣の市住民か、入り込み客か？ ⇒ ターゲットが不明確 = 取り組みが散漫 ・DMO(森の京都)はどのような役割を果たしているのか？本来はDMOが考えるべき ・一旦、29年度で市の事業としては終了(H30は未定) ・今後、補助金を利用して実施されるのであれば、十分、精査して取り組まれたい ・今後、また市から補助金を出して実施するのであれば、現在のような収入のほとんどが補助金では難しい。自主財源の確保を。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 「森の京都」PR事業として平成27年度から平成29年度までの3年間を計画した事業であり平成30年度で廃止した。 <input type="checkbox"/> 平成30年度は府の地域力再生プロジェクト事業を活用、またクラウドファンディングを実施し開催された。 <input type="checkbox"/> 平成31年度も市の補助金には頼らない方向で実施を検討してもらおう。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業 (220306)			担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	森の京都福知山マスタープラン		
	施策名	観光客の増加を促進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府唯一の火山である宝山により形成された溶岩台地であり、風向明媚で史跡にも恵まれた夜久野高原やその観光拠点となる道の駅「農匠の郷やくの」に関する情報を地域内外へ発信し、これらへの集客と住民交流を促進する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	22,600	一人当たりコスト	0.19		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会						
	事業概要	夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」において実施されるイベントに対して補助金を交付する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		やくの高原まつり実行委員会への補助金		イベント実施に要する経費に対する補助(全体経費4,683千円)			576	
夜久野農林商工祭実行委員会への補助金		イベント実施に要する経費に対する補助(全体経費約215千円)			162			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	738	720	702	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		1,000	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		0	369	0	0	
		国支出金		1,000	0	0	0	
		府支出金		0	369	360	351	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	360	351	
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金		369	府補助金	22	頁
								頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.45/0	0.45/0	0.45/0	/	
		概算人件費・・・④		3,600	3,600	3,600		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,600	4,338	4,320			
執行状況	執行額・・・⑥		1,000	738				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		高原まつり来場者数	人	16,000/15,000	18,000/16,000	/16,000	16,000	
		農林商工祭来場者数	人	5,600/6,600	6,000/6,600	/6,600	6,600	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		やくの高原まつり補助額	千円	640/640	576/576	/562	0	
		単位あたりコスト		-	-			
夜久野農林商工祭補助額	千円	180/180	162/162	/158	0			
単位あたりコスト		-	-					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	実行委員会により実施される地域に定着したイベントであるが、自己資金のみでの開催は困難。道の駅への集客は年々減少傾向にあり情報発信する事業として必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	受益者負担との負担関係について実施団体と協議を進める必要があるが、補助金額に対する集客数は十分と考える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	一時的な集客には繋がっているが、年間を通しての集客数は減少傾向にある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	各イベント実施による集客数は、ほぼ達成しており評価できる。 道の駅「農匠の郷やくの」への集客数については、このイベントが一時的なものであり年間を通じての集客に繋がっていないため、今後のイベントのあり方を検討する必要がある。	
	今後の課題及び方向性	イベントにより一時的な集客は評価できるが、年間を通しての集客は減少傾向にあり検討を要する。 また、事業の目的・成果や事業費の補助等について、支援団体と協議し、一定のルール化を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○平成30年度に補助金2.5%の削減を行った。 ○地域に定着したイベントであり、また、道の駅「農匠の郷やくの」の集客増に繋がるため今後も継続して行くが、協賛金等資金獲得を増やし、平成31年度についても事業費補助の見直しを行う。 ○「夜久野農林商工祭」の事務局を平成31年度から実行委員会に移行する。（「やくの高原まつり」の事務局はすでに移行済） 【H29棚卸しに係る見直し状況】 ○「やくの高原まつり実行委員会」及び「夜久野農林商工祭幹事会」と補助金見直しの協議を行った。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		